

惜陰の子ら

令和5年9月
鯖江市惜陰小学校
学校だより NO.25

ヘチマの花と実です。

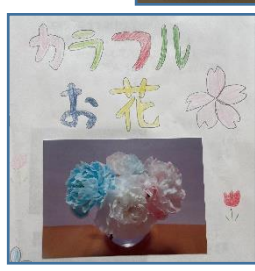
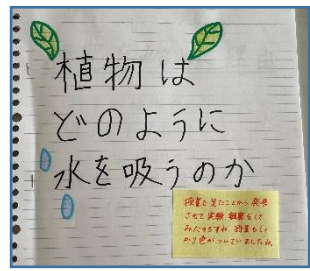
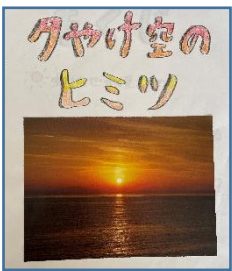
理科自由研究

暑い日が続き、採集は大変だったでしょう。

夏休みの宿題として、4年生から6年生が理科の自由研究に取り組みました。植物標本、昆虫標本、動植物の観察記録、「なぜ？」という身近な疑問について調べたり実験したりした研究などの作品が第2理科室に展示されていました。イラストや写真、グラフを活用した作品はどれも見ごたえがあり素晴らしかったです。



きれいな色の食部標本!!



エコネットさばえからドングリおじさん、お兄さんそして森の博士を招いて、森づくり教室を開きました。森づくりが他の動植物とつながっていたり、洪水を防いだり、地球温暖化防止に役立ったりしていることを、紙芝居を通して知ることができました。その後、間伐材を使った積み木で遊び、木の良さや温かさを体験することができました。今後は、ドングリ拾いを行う予定です。

環境学習 3年 森づくり教室



5年 道徳 ノーベル平和賞を受賞したケニアの

ワンガリ・マータイさんは2005年に日本を訪れました。その時に会った言葉は「もったいない。」彼女はこの言葉を地球環境を守る魔法の言葉とし、活動を続けました。



6年理科～月の見え方～

半分は黒、半分は黄色に色分けされたボールを移動させ、同じ場所からどのように見えるかの実験を通して、月の形が日によって変わって見える理由を考えることができました。



中秋の名月



9月17日は「中秋の名月」(十五夜)です。「中秋の名月」とは、旧暦の8月15日に出る月のことを指しています。なぜ、夏真っ盛りの8月15日に出る月のことを「中秋の名月」と呼ぶのでしょうか。それは、現在とは違い旧暦では、7月から9月を秋としており、中間にあたる8月のことを「中秋」と呼んでいました。そのことから「旧暦の8月15日に見られる月」のことを「中秋の名月」と呼ぶようになったそうです。ちなみに「中秋の名月」の日は年によって違います。昨年は9月23日(あいにくの曇り空で、月は見えませんでした)、一昨年は9月10日でした。

また、お月見のお供えといえばお月見団子ですが、昔はサツマイモや豆を供えて、収穫への感謝をしたそうです。

朝晩は気温も下がり、風も涼しくなりました。

秋を感じる時期になりました!!



管理員さんが畑にブロッコリーの苗を植えました。



サツマイモは収穫までもう少しかかりそうです。



ヘチマはようやく小さい実ができていました。



本を寄贈していただきました。

【あらすじ】太平洋戦争中には、空襲から逃れるため都会の小学校が学校単位で地方へ移る学童集団疎開が行われました。校区にある萬慶寺にも、大阪の小学生50人が親元を離れて暮らし、惜陰国民学校に通っていました。大阪の小学生と地元の小学生の交流、萬慶寺の天井に描かれた竜にまつわる不思議な出来事、終戦、そして別れ…平和への願いがいっぱい詰まっています。是非読んでください。

鯖江市在住の作家、千葉 亮(ちばりょう)さんという方から、「ばんけっさんの竜と子どもたち」という本を8冊寄贈していただきました。4年生以上の各クラスに1冊ずつ置きます。



本の舞台となっている萬慶寺

